NTT コミュニケーションズ IC カードリーダライタ
ドライバソフトインストールマニュアル

2012.12

【 ドライバソフト対応 OS 一覧 】

IC カードリーダライタ		SCR331CL -NTTCom	SCR331DI -NTTCom	SCR3310 -NTTCom	SCR243 -NTTCom
		Ver.5.11	Ver.5.11	Ver.4.60	Ver.1.28
Windows 8		○	○	○	—
Windows 7	SP1	○	○	○	○
Windows Vista	SP2	○	○	○	○
Windows XP	SP3	○	○	○	○

目次：

1. はじめに

■　はじめに（インストールを開始する前に必ずお読みください）

（１）　本書では、NTT コミュニケーションズの IC カードリーダライタをご使用になる場合のドライバソフトのインストール手順を記述しています。

（２）　SCR331CL/SCR331DI/SCR3310/SCR243-NTTCom は PC/SC に対応しています。ご利用のアプリケーションによってはアプリケーションに IC カードリーダライタの設定をする必要があります。詳しくはアプリケーション付属のマニュアルを参照してください。

（３）　インストールを開始する前に起動中のプログラムはすべて終了してください。

（４）　インストールには、管理者権限が必要です。

（５）　IC カードリーダライタはドライバソフトをインストールしてから、PC に接続してください。詳細は、本書、及び、取扱説明書に従ってください。ドライバソフトをインストールする前に IC カードリーダライタをパソコンに接続しないでください。

（６）　USB 接続の IC カードリーダライタを接続する際には、本体背面にある USB ポートへの接続を推奨します。
（ディスプレイ横、本体前面、キーボード等にある USB ポートは構造上特殊なことが多いため、IC カードリーダライタの接続には適さず、インストールが正常に進まないことがあります）。不適切な USB ポートへ接続した場合の動作保証はいたしかねます。
また、USB ハブは電源アダプタ付き（セルフパワー）HUB をご利用ください。

NTT コミュニケーションズは、ご利用者、または第三者が IC カードリーダライタの使用に関して被った損害に対し、一切の責任を負いません。

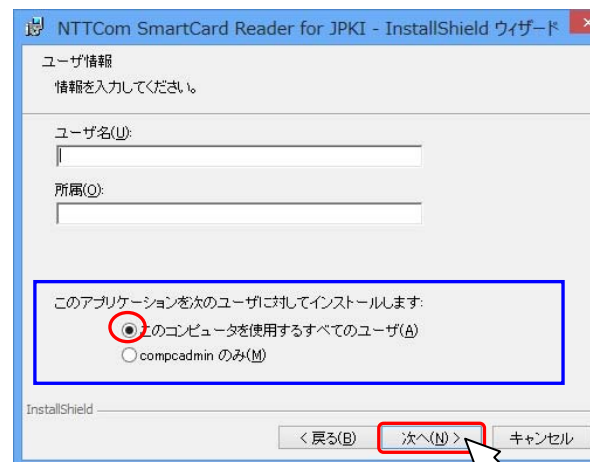
2．ドライバソフトのインストール

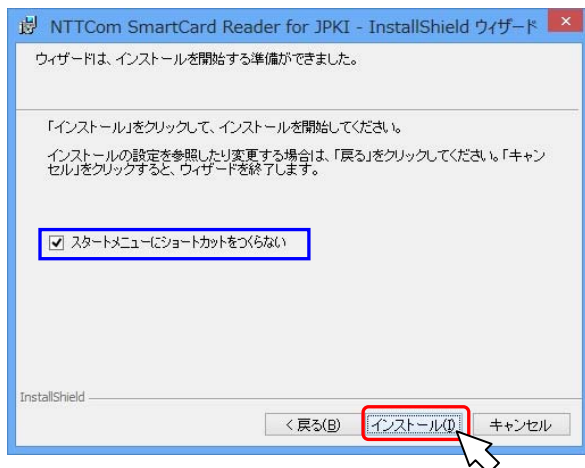
ICカードリーダライタはドライバソフトをインストールしてから、PCに接続してください。
パソコンに接続されている全てのICカードリーダライタを予めパソコンから取り外してください。

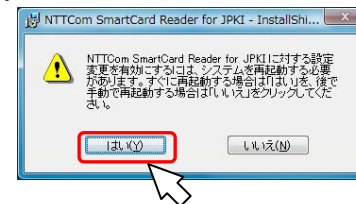
① ［scr_122.exe］を実行すると下図が表示されます。［次へ(N)］ボタンを押してください。

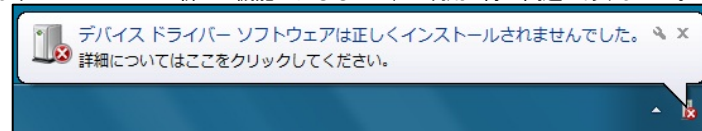
【Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 をご利用の方へ】
［scr_122.exe］を実行すると、下図が表示されます。［続行］ボタンを押すと、②画面が表示されます。

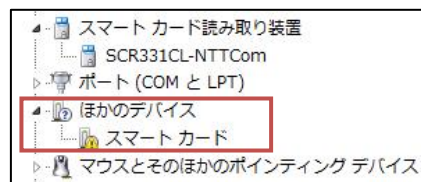
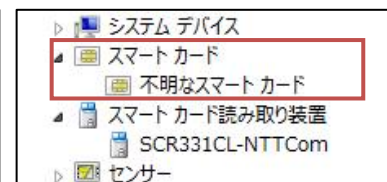
② 本ソフトの使用許諾契約の確認画面が表示されます。内容をご確認の上、［使用許諾契約の条項に同意します(A)］を選択し、［次へ(N)］ボタンを押してください。

③ 下図が表示されたら、［このコンピュータを使用するすべてのユーザー(A)］を選択し、［次へ(N)］ボタンを押してください。
［ユーザ名(U)］、［所属(O)］欄の入力は任意です。（未設定でも進めます）

※Windows 98SE / Me の場合、青枠内の表示はされません。

④　インストールを開始します。下図が表示されたら、[インストール(I)]ボタンを押してください。
※ご利用の環境により、インストールが完了するまでに時間がかかる場合があります。

⑤　インストールが完了すると下図が表示されます。[完了(F)]ボタンを押してください。

(注) 下図が表示された場合、パソコンの再起動が必要です。［はい(Y)]ボタンを押してパソコンを再起動してください。

⑥　インストールが完了したら、IC カードリーダライタをパソコンの USB ポート（SCR243 は PC カードスロット）に接続してください。IC カードリーダライタを接続すると、OS がドライバソフトのインストールを行います。
※IC カードリーダライタをパソコンに接続しても、「デスクトップ」または、「コンピュータ」（OS により、マイコンピュータ）にアイコンは表示されません。

【Windows 7 / 8 をご利用の方】
Windows が IC カードを認識すると以下の表示がされます。この事象は Windows の新しい機能によるもので、ご利用に際し問題はありません。
・Windows7 の場合、IC カードリーダライタに IC カードを挿入する（または置く）と下図が表示されますが Windows OS の新しい機能によるもので、ご利用に際し問題はありません。（図①）

図①Windows7 の IC カード挿入時のエラー画面

・Windows 7 以降、IC カードリーダライタに IC カードを挿入する（または置く）と「デバイスマネージャ」にスマートカードが表示されますが Windows OS の新しい機能によるもので、ご利用に際し問題はありません。（図②、③）

図②Windows7 のデバイスマネージャー

図③Windows8 のデバイスマネージャー

３．IC カードリーダライタの状態確認

IC カードリーダライタに IC カードを置く、または挿入しても、ランプが点滅しない場合に本章に従って確認を行ってください。

（1）IC カードリーダライタの接続を確認する

IC カードリーダライタがパソコンの USB ポート（SCR243 は PC カードスロット）に正しく接続されていることを確認してください。

（2）IC カードリーダライタのランプ表示で状態を確認する

【SCR331CL-NTTCom】

ランプの状態	意味
緑色点灯	IC カードリーダライタに電源が入っている状態。
緑色点滅	非接触 IC カードをかざし、認識されている状態。
緑色消灯	ドライバソフトが正常にインストールされていない状態。

【SCR331DI-NTTCom／SCR3310-NTTCom】

ランプの状態	意味
緑色点灯	IC カードリーダライタに電源が入っている状態。
緑色点滅	接触 IC カード挿入後 10 数秒間点滅し、点灯状態に戻る。 IC カード通信中は点滅し、終了後点灯状態に戻る。(※)
橙色点滅 （SCR331DI-NTTCom のみ）	非接触 IC カードをかざし、認識されている状態。

※ご利用の環境により、IC カードを利用中は常時点滅となる場合があります。

（3）デバイスマネージャでの IC カードリーダライタ確認方法

IC カードリーダライタが正常に動作しているかデバイスマネージャで確認することができます。
以下の手順で、確認してください。

IC カードリーダライタはデバイスマネージャの「スマートカード読み取り装置」の下に以下の名称で表示されます。

SCR331CL-NTTCom の場合　：SCR331CL-NTTCom
SCR331DI-NTTCom の場合　：SCR331-DI SmartCard Reader
SCR3310-NTTCom の場合　：SCR3310-NTTCom USB SmartCard Reader
SCR243-NTTCom の場合　：SCR24x PCMCIA Smart Card Reader

①以下の手順で「デバイスマネージャ」を起動します

■ Windows8 をご利用の方 ■

デスクトップまたはスタート画面で、[Windows キー]＋[x キー]を押し、表示されるメニューより[デバイスマネージャー]をクリックしてください。

■ Windows 7 をご利用の方 ■

[スタート]メニューより[コントロールパネル]開き、表示方法を[カテゴリ]から[大きいアイコン]または、[小さいアイコン]に変更してください。表示された画面から、[デバイスマネージャー]をクリックしてください。

■ Windows Vista をご利用の方 ■

[スタート]メニュー→[コントロールパネル]→[システムとメンテナンス]※→[デバイスマネージャ]を順にクリックして[デバイスマネージャ]開き、[スマートカード読み取り装置]の[SCR331-DI SmartCard Reader] が下図のように表示されることを確認してください。
※設定をクラシック表示としている場合は、[システム] →[デバイスマネージャ]の順にクリックしてください。

■ Windows XP をご利用の方 ■

[スタート]メニュー→[設定]※→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]※→[システム]の順で操作し、[システムのプロパティ]を表示します。[ハードウェア]タブをクリックし[デバイスマネージャ]ボタンを押し[スマートカード読み取り装置]の[SCR331-DI SmartCard Reader] が下図のように表示されることを確認してください。
※Windows XP の場合、設定により、[設定]、[パフォーマンスとメンテナンス]は表示されません。

② IC カードリーダ（本書の場合は、SCR331-DI SmartCard Reader）をダブルクリックしてプロパティを開きデバイスの状態を確認してください。

「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されたら正常です。この状態でも IC カードの読み取りができない場合は、「（4）SmartCard サービスの確認」の確認を行ってください。
それ以外の表示の場合は、再度、ドライバソフトをインストールしてください。

（4）SmartCard サービスの確認

ドライバは正しくインストールできているが、IC カードリーダライタが正しく動作しない場合は、OS の“サービス”が停止または壊れている可能性があります。以下の手順により“サービス”の状態を確認してください。

① 以下の手順で「SmartCard サービス」を起動します。

■ Windows 8 をご利用の方 ■

デスクトップまたはスタート画面で、[Windows キー]＋[x キー]を押し、表示されるメニューより[コントロールパネル]を開き、表示方法を[カテゴリ]から[大きいアイコン]または、[小さいアイコン]に変更してください。表示された画面から、[管理ツール]をクリックしてください。[管理ツール]の画面で、「サービス」をダブルクリックしてください。

■ Windows 7 をご利用の方 ■

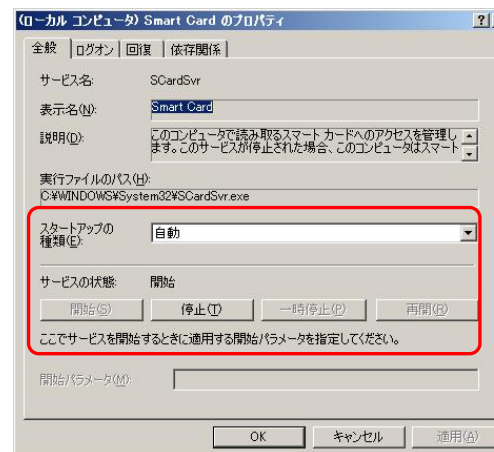
[スタート]メニューより[コントロールパネル]開き、表示方法を[カテゴリ]から[大きいアイコン]または、[小さいアイコン]に変更してください。表示された画面から、[管理ツール]をクリックしてください。[管理ツール]の画面で、「サービス」をダブルクリックしてください。

■ Windows Vista をご利用の方 ■

[スタート]メニュー→[コントロールパネル]→[システムとメンテナンス]※→[管理ツール] →[サービス]を順にクリックしてください。
※設定をクラシック表示としている場合は、[管理ツール] →[サービス]の順にクリックしてください。

■ Windows XP をご利用の方 ■

[スタート]メニュー→[設定]※→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]※→、[管理ツール] →[サービス]の順にクリックしてください。
※Windows XP の場合、設定により、[設定]、[パフォーマンスとメンテナンス]は表示されません。

② [SmartCard]をダブルクリックすると、下図が表示されます。
[スタートアップの種類]が“自動”、[サービスの状態]が“開始”になっていることを確認してください。

4.（参考）公的個人認証サービス利用者クライアントソフトの設定

公的個人認証サービス利用者クライアントソフトは住民基本台帳カードを利用した公的個人認証サービスの電子証明書をご利用する場合に必要なソフトです。
公的個人認証サービス利用者クライアントソフトは「公的個人認証サービスポータルサイト」から入手してください。

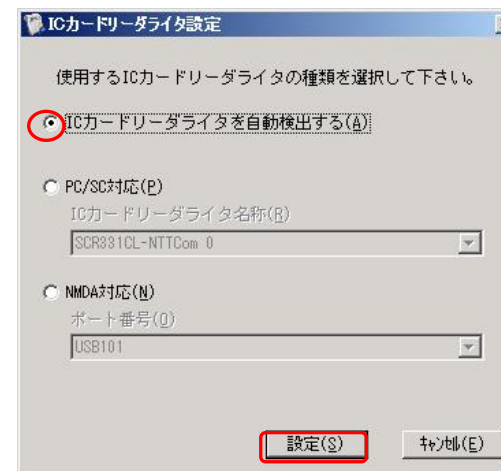
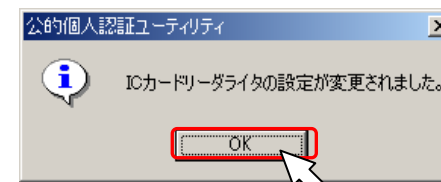
設定を行うには、IC カードリーダライタのドライバソフトのインストール完了し、IC カードリーダライタをパソコンに接続が必要です。お済みでない方は項番１～３の手順を参照し、インストールを完了してください。
詳しくは、「公的個人認証サービス利用者クライアントソフト」に添付のマニュアルをご覧ください。

※本章の設定を行う前に、必ず IC カードリーダライタのドライバソフトのインストールし、パソコンに IC カードリーダライタを接続してください。IC カードリーダライタが接続されていない場合、設定を行うことができません。

※公的個人認証サービス利用者クライアントソフト Ver.2.4 では予め、IC カードリーダライタを自動検出する設定になっています。

※IC カードリーダライタが複数台接続されている場合を自動検出ではなく、本操作でご利用の IC カードリーダライタを設定してください。

① [スタート]メニュー →[プログラム]→[公的個人認証サービス]→[ユーティリティ]→
[IC カードリーダライタ設定]をクリックしてください。
※Windows8の場合は、スタート画面に[ICカードリーダライタ設定]をクリックしてください。

② 下図が表示されたら、「ICｶｰﾄﾞﾘｰﾀﾞﾗｲﾀを自動検出する(A)」となっていることを確認し、[設定]ボタンを押してください。
※IC カードリーダライタが複数台パソコンに接続されている場合は、自動検出でご利用できない場合があります。自動検出でご利用できない場合は、「PC/SC 対応」を選択し、IC カードリーダライタ名称にご利用する IC カードリーダライタを設定してください。

③ 下図が表示されたら、[OK]ボタンを押してください。
以上で、公的個人認証サービス利用者クライアントソフトの[IC カードリーダライタ設定]は完了です。

5．（参考）ドライバソフトのアンインストール

IC カードリーダのドライバソフトが不要となった場合にアンインストールで削除が可能です。
IC カードリーダライタのドライバソフトのアンインストールは以下の手順で行ってください。

① ドライバソフトは[アプリケーションの追加と削除」(WindowsXP では[プログラムの追加と削除］）を使用してアンインストールします。[アプリケーションの追加と削除]の起動方法は OS により異なります。

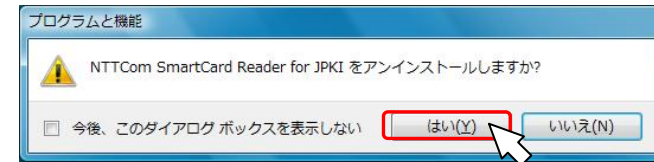
■ Windows 8 の場合 ■
デスクトップまたはスタート画面で、[Windows キー]＋[x キー]を押し、表示されるメニューより[プログラムと機能]をクリックしてください。
[NTTCom SmartCard Reader for JPKI]を選択し、[アンインストール]ボタンを押してください。

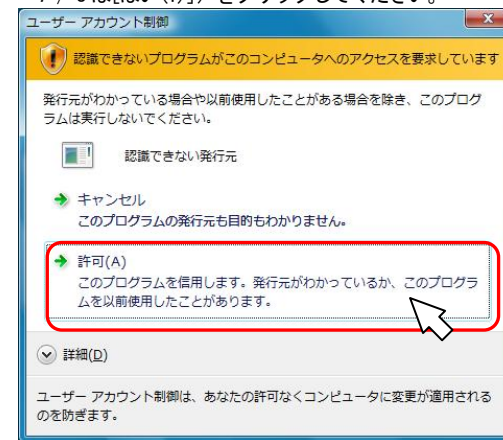
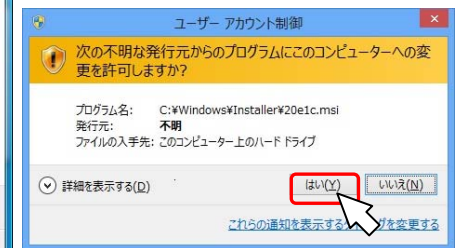
■ Windows 7 の場合 ■
[スタート]メニューの [コントロールパネル]を開き、[プログラムのアンインストール] (コントロールパネルの表示方法を[大きいアイコン][小さいアイコン]にしている場合は、[プログラムと機能]）をクリックする。
[NTTCom SmartCard Reader for JPKI]を選択し、[アンインストール]ボタンを押してください。

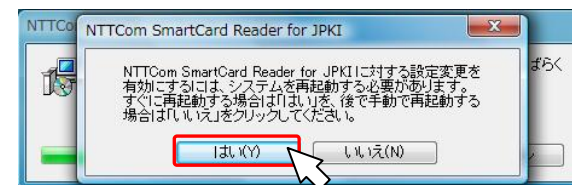
■ Windows Vista の場合 ■
[スタート]メニューの [コントロールパネル]を開き、[プログラムのアンインストール] (クラシック表示の場合は、[プログラムと機能]）をクリックする。
[NTTCom SmartCard Reader for JPKI]を選択し、[アンインストール]ボタンを押してください。

■ Windows XP の場合 ■
[スタート]メニューの [コントロールパネル]を開き、[プログラムの追加と削除]をダブルクリックする。
[NTTCom SmartCard Reader for JPKI]を選択し、[変更と削除]ボタンを押してください。

※図は Windows Vista の画面。OS により、画面表示は異なります。

② 下図が表示されたら、[次へ(N)]ボタンを押してください。

※図は Windows Vista の画面。OS により、画面表示は異なります

③ Windows Vista / 7 / 8 の場合、下図が表示されます。下図が表示されたら、[許可(A)] (Windows 7 / 8 は[はい(Y)]）をクリックしてください。

【Windows Vista】

【Windows 7 / 8】

④ 下図が表示されたら、[はい(Y)]ボタンを押してください。
パソコンが再起動したらアンインストールは完了です。

お問合せ先

NTT コミュニケーションズ

サポートセンタ

http://www.ntt.com/jpki
上記サイトを確認の上、e-Mail でお問い合わせください。

受付時間　10：00〜17：00
土・日・祝日・年末年始（12 月 29 日〜1 月 3 日）を除く